

美々津中学校通信

11月号
R6. 11. 1
発行者校長



美々津中HPへ

十一月は日本古来の文化 にちなんだ行事が目白押し

十一月の和名は「霜月」といい、文字通り「霜が降りる月」という意味です。十月下旬でも、日を追うごとに朝晩の気温が下がってききましたが、さらに十一月下旬になるころにはまさに霜が降りるような寒さを感じるようになってきます。このように、ひと月のうちでもっとも変化が大きいのがこの十一月です。十一月は、「文化の日」「七五三」「勤労感謝の日」などの日が設定されています。「文化の日」は十一月三日で、日本国憲法が公布された日です。憲法にある平和と文化を尊重する理念を記念して制定されました。「七五三」は、七歳・五歳・三歳の子どもの成長を祝う行事で、神社やお寺などに「七五三詣り」として参拝し、ここまで育った報告や感謝、今後の健康を祈願します。「勤労感謝の日」は、十一月二十三日で、もともと第二卯の日であるこの日は、神々に五穀の収穫を感謝する「新嘗祭（にいなめさい）」の祭日でした。新嘗祭は、稲の収穫を祝い、また翌年の豊穣を祈願して行われる宮中行事で、その年に収穫された新穀や新酒を神々にお供えする、いわば収穫祭です。このように、十一月は、日本伝統の神にまつわる行事が多いのが特徴です。



「一号」「秋時雨」「小春日和」「紅葉狩り」などがあげられます。「木枯らし一号」は、太平洋側の地域で晩秋から冬にかけて吹く、北よりの強い風のことを指します。特にその年最初の木枯らしを「木枯らし一号」として、気象庁が発表しています。「秋時雨（しぐれ）」は、晩秋から初冬にかけてパラパラと降りる雨のことです。主に日本海側や山間部で見られる天気を表す冬の雨を指します。「小春日和」は、晩秋から初冬の時期の、よく晴れた穏やかな暖かい日のことを言います。この時期に見られる、春のような穏やかな晴天の日だけを特に「小春日和」と呼んでいます。「小春」というぐらいですから、春を想起しますが、晩秋の晴れの日を指す言葉です。最後に「紅葉狩り」は、秋のレジャーとして馴染みのイベントですね。このように、十一月は、日本独特の気象現象に伴い、収穫の時期でもあるため、昔からそれにちなんだ行事や祭事が行われてきたということがわかります。日本文化を象徴するような十一月を現代に生きる私たちが大事に守り、伝え守っていく必要があります。のように思います。



第78回体育大会

十月六日（日）降水確率60%の予報ではありましたが、第78回体育大会を開催しました。当初の予報に反し、想定外の降水があり、開会式前にグラウンドがかなりぬかるむ状態となってしまいました。開会式直後には、全学年の徒走があり、コーナーでは、転倒する生徒が多発しましたが、すぐに起き上がり、最後まで一生懸命走る姿に多くの声援が送られました。けがをしないかとひやひやしながら観戦していましたが、誰一人大きなけが人も出ず、ほっと胸をなでおろしたところでした。

本大会のスローガン「Do. Or. Not. Best.」笑顔で突っ走れ！仲間と共に！の下、河野滯奈実行委員長が18日間の練習を引っ張ってきました。生憎の天候となりましたが、生徒たちは、徒走・リレー・団技・応援等に誰一人手を抜くことなく、一生懸命取り組んでくれました。徒走やリレーでは、転倒するアクシデントもあり、練習の時とは違う結果となりましたが、最後まであきらめず走りぬく姿に感動させられました。



雨天により、プログラムの変更が余儀なくされ、午後まで計画していた内容をいくつか省略し、午前中にすべてを入れ込む形となりました。最後のプログラムは、本校のメインプログラムとなっている「美中ソーラン」です。三年生が中心となり、鯉のぼりの衣装で作った法被をまとい、見事な踊りを披露しました。三年生を囲むように一、二年生がしっかりとサポートし、全学年63名での勢いのあるパフォーマンスは、見ている人々たちを感動の渦に誘いました。

結果的に、競技の部も応援も赤団が優勝でしたが、赤も青も優秀なところがどちらも素晴らしい取組でした。終わった後の、三年生の達成感・成就感が一人一人の表情に表れ、大成功の体育大会だったと確信しました。



10/16避難訓練

十月十六日(水)5校時、本年度2回目の避難訓練を実施しました。今回は、通常の避難訓練に加え、最終的に家族に受け渡し場所まで行くことにしました。本校は、海拔4m程の大変低地に位置しており、地震・津波への対策は喫緊の課題としています。本年度より、本地域の津波想定が最大15mとなっているため、海拔15m以上の地点をセーフティゾーンと位置づけ、そこまで全力で避難することになりました。そこから、海拔35m地点の第一次避難場所まではそれぞれのペースで移動することとしています。今回はさらに、家族への受け渡し場所まで移動し、実際の場面に備えて避難しました。生徒たちは、誰一人気を抜くことなく、必死に訓練に参加していました。

校長は、今回の避難訓練への取組や姿勢が素晴らしいと称賛しつつ、実際の場面では訓練とは違う想定外が起きる可能性があるとの次のように話しました。



「訓練は一つの目安であって、その時と場合によっては、違う判断をそれぞれがする必要があると思います。いつも、学校からの避難とは限らないので、自宅はもちろん、初めて訪れた場所でも起きるかもしれないかもしれません。どのような場所でも、「もし、ここで津波が来たなら？」と自分に問いかけ、安全な場所を確認する習慣をつけておくことも大事です。」



新生徒会役員決定!

【生徒会長】

敷田心咲 (二年)

【生徒会副会長】

古川煌翔 (二年)

【生徒会書記】

治田健伸 (二年)

《各専門員会》

〔学習〕 橋本清子 (二年)

〔生活〕 丸谷ひかり (二年)

〔健康〕 黒木利臣 (二年)

〔健康〕 橋口希海 (二年)

〔健康〕 橋口俊希 (二年)

〔健康〕 黒木萌紗 (二年)

〔プログラム〕

副 橋口朱李 (二年)

副 内田帆香 (二年)

「読み聞かせ」始まる

十月二十二日(火)、本年度よりボランティアによる「読み聞かせ」の取組を始めました。地域コーディネーターの橋口洋子氏が中心となり、美々津中学校区の読み聞かせボランティアを募り、6名のボランティアの皆さんが参加していただきました。8時から15分間の短い時間でしたが、それぞれの学級に2組のボランティアの皆さんが担当していただき、読み聞かせを行いました。一年生を担当していただいた3名は、海外の珍しい楽器をBGMとして演奏し、叙情感溢れる演出までしていただきました。

生徒たちもコロナ禍後、初めてとなる「読み聞かせ」を熱心に聞き、ボランティアの皆さんの表現豊かな朗読に夢中になっていました。朝のわずか15分の時間でしたが、清々しい気持ちのよい時間を学級で共有でき、一日のよいスタートが切れたように思います。ボランティアの皆さんありがとうございます。今後は毎月一回、定例行事にいくつもりです。



行事予定

- 11月 1日 (金) 県秋季大会(ソフトニス)
- 11月 2日 (土) " (ソフトニス・柔道)
- 11月 3日 (日) 文化の日
- 11月 4日 (月) 振替休日
- 11月 6日 (水) 小中合同研修会
- 11月 7日 (木) ひまわりフェスティバル
- 11月 8日 (金) 入試制度説明会(3年)
- 11月 9日 (土) 立磐神社例大祭
- 11月 10日 (月) 湊柱神社例大祭
- 11月 11日 (月) 教育相談(→18日)
- 11月 14日 (水) ※午前中授業(研修会)
- 11月 17日 (日) 家庭の日
- 11月 19日 (火) 学校運営協議会
- 11月 20日 (水) 職場体験学習(→21日)
- 11月 21日 (木) PTA 運営委員会
- 11月 22日 (金) 保護士講演会
- 11月 23日 (土) 勤労感謝の日
- 11月 25日 (月) 居住地間交流(3年)

部活動計画

◆軟式野球部

11月3日(日)

★日向市文化祭大会(大王谷球場)

11月16日(土)

◇練習試合(日向中・高岡中 美々津中G)

◆女子ソフトテニス部

11月1日(金)・2日(土)

★宮崎県中学校秋季体育大会(生目の杜)

◇練習試合等(未定)

◆卓球部

11月2日(土)

□Tリーグ観戦(延岡アリーナ)

11月24日(日)

★門川町文化祭卓球大会(勤労者体育館)

各部とも各種大会での活躍を期待しています。